

令和5年度 農山漁村振興交付金(農福連携対策) 事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和4年度に実施された「農山漁村振興交付金(農福連携対策)」の事業について、「農山漁村振興交付金(農福連携対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2271号農林水産省農村振興局長通知)第14の2の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和4年度に交付金事業を実施した沖縄県内の2地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。
その結果、優良と認められる地区が1地区、良好と認められる地区が1地区との評価結果となった。

3. 各地区的評価結果

2件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
沖縄	沖縄県	名護市	株式会社エスペレ	/	/	● ★	●	□	/	/	/	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
沖縄	沖縄県	糸満市	医療法人陽和会	/	/	/	● ★	○ ☆	□	/	/	B	総合的に目標の達成状況が良好と認められる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○‥交付対象年度(計画) ●‥交付対象年度(実施済) □‥目標年度(計画) ■‥目標年度(実施済)
 ハード対策 ☆‥交付対象年度(計画) ★‥交付対象年度(実施済) ◇‥目標年度(計画) ◆‥目標年度(実施済)
 重点指導 ▼‥重点指導(通知) △‥重点指導(結果報告予定) ▲‥重点指導(結果報告)

(注2) 「評価」の区分: A‥優良 B‥良好 C‥低調 評価対象外‥評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

「農山漁村振興交付金(農福連携対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2271号農林水産省農山村振興局長通知)第14の3の規定に基づき、第三者機関である「農山漁村振興交付金(都市農村交流等)評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長:杉村 泰彦 (琉球大学農学部 教授)

委員 :田中 政宏 (株式会社リクルートライフスタイル沖縄 代表取締役社長)

【令和5年度評価委員会の開催概要】

1 日 時 :令和5年8月22日(火) 10:00～12:00

2 場 所 :沖縄総合事務局 会議室

3 議事概要

① 令和5年度評価対象地区の評価方法について

本年度の評価方法について、説明を行い了承を得た。

② 令和5年度評価対象地区的評価及び取組状況について

令和4年度に事業を実施した2地区の、取組概要、評価案に関して説明し、質疑応答を行った。

4 主な意見

株式会社エスペレ: 計画どおり取組が実施され、事業実績の目標もおおむね達成している。交流の取組として、農産物まつりを計画していたが、臨時の職業体験を受け入れたことにより、農産物まつりが実施できなかつたことは理解できるが、令和5年度においては、計画に基づいた取組を着実に実施するよう努められたい。

医療法人陽和会 :取組状況及び事業実績もおおむね達成している。予定していた、技術指導者からの栽培技術習得は実施できなかつたが、令和5年度については技術指導者及び栽培技術指導の関係団体と十分に連携し、農作物の栽培技術を確実に習得することで、今後の活動の充実に繋げて頂きたい。